

## 目次

はしがき：声と耳に関する断章

序章 理論ノーツ：相互行為論と障害学

0-1 シンボリック相互行為論

0-2 障害学

第1章 他者化と自己疎外

1-1 いま、いかなる問題か

1-2 「優しい社会」の落とし穴

1-3 警報の色

1-4 他者化と自己疎外

第2章 「パイプのけむり」の三つのエッセイ

2-1 対象と方法

2-2 自己とコミュニケーション

2-3 表象＝代弁の病理

2-4 「ある」ことと「つくられた」こと

2-5 「いる」ことと「なる」こと：「微温湯」

第3章 色盲検査表を読む：色弱者はいかにして信頼を奪われたか

3-1 残された謎

なぜ日本で？ 検査表の謎 作業課題

3-2 「ある鉄道運転手」と「緑の犬」

厄災のレトリック 「ある鉄道運転手」：二重の過誤

「緑の犬」：隠匿と偽装 ドルトンの靴下 言葉と色

「ある鉄道運転手」再解釈 異文 多層性の罭

3-3 予言の自己成就

なぜ解き 予言の自己成就 排除 色覚検査の歴史

第4章 善意の思想像

4-1 さらなる謎

4-2 科学の外側：「不適當であるべき」

科学外的判断 際限のない疑念 実践的な問い リスクの問題

専門技術のユニバーサルデザイン 労働と生産の場で 当事者に学ぶ  
完全な人間を目指さなくてよい理由 ウェアラブル端末

#### 4-3 適性の論理：「本人の為」

「生存競争」 社会進化論の種類 社会思想と日常意識  
隠れた第一原理 「適性」の論理 カード式：「簡単な方法」  
工学の日常化 精密化への道 論理の生態学  
アイデンティティ管理と物象化 再考された本質論の地平  
「色覚問題の明日」 クライアント=ハンティングを超えて 地層

### 終章 応答性：声と耳と自己と

文献

索引

あとがき

## 図・表・画像

- 図 0-1-1 相互行為の自己構成的過程
- 画像 1-2-1 色分けで意味を表す揭示
- 画像 1-2-2 色の重ならない工夫
- 画像 1-2-3 文字と色との組み合わせ
- 画像 1-3-1 赤信号
- 画像 2-2-1 色覚検査表の一例
- 画像 2-2-2 昔日の学習漫画（1）
- 表 2-4-1 色覚クレームの論理の切片
- 表 2-4-2 色覚クレームの論理の型
- 画像 2-5-1 昔日の学習漫画（2）
- 表 3-1-1 「色覚特性と過誤」記述例
- 表 3-2-1 「過誤」・「事故」エピソード一覧
- 表 3-2-2 「緑の犬」エピソード叙述一覧
- 表 3-2-3 「ある鉄道運転手」異文
- 画像 3-3-1 ホルムグレンの羊毛法
- 画像 3-3-2 ナーゲルのアノマロスコープ
- 画像 3-3-3 小口忠太「新案色神検査表」
- 画像 3-3-4 小口忠太「仮性同色表」
- 画像 3-3-5 伊賀文範「新撰色盲検査表」
- 画像 3-3-6 石原忍「ひらがな色盲検査表」
- 画像 3-3-7 松原廣「幼児色盲検査表」
- 表 5-1-1 「色弱者」に対する負のラベル一覧

資料 「職業適性」一覧

資料 色覚検査の歴史